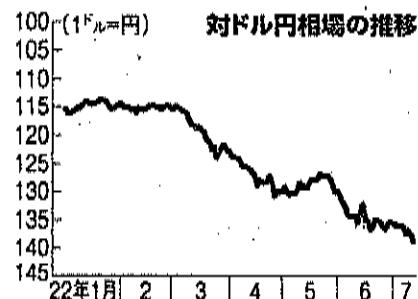


7/15-200

止まりぬ
内安

時寺
139
内
舎

田安が止まるな。」14日の東京外國為替市場で田相場は一盎一ドル=1,500円位に急落し、約24年ぶりの田安ドル高水準となった。米国の物価高が加速し、米国が大幅な利上げを進めるとの見方から円を売り動搖が強まつた。世界経済の減速懸念が高まつてこることで、基軸通貨のドルを賣り動きとながりている側面もあり、田安せわらに進む可能性がある。



日本時間の14日夕方だ。13日夕方は13時～田中もんみ
近辺の値動きで、1日じ2
田以上も急落した。
引き金は13日夜に米安藤
省が発表した6月の消費者
物価指数（CPI）だ。前
年同月より9・1%も上昇
し、約40年半ぶりとなる高
水準となり、市場予想の8
・8%を上回った。
米国の中銀にあたる
連邦準備制度理事会(Fed)

3月初めに開かれた「3月近況会議」で、田安が進んでいる。田安は「輸出企業の業績を押し上げる」として、世界経済の先行き不安から、田安が進む背景には、世事が加速した」と述べた。

るプラス面がある一方、食料品や原材料など輸入品の価格高騰に拍車をかけ、家計や企業の負担を重くする傾向の動きが幅広い商品に及んでいて、マイナス面も大きくなっている。松野博一官房長官は14日の記者会見で「為替市場で急速な円安の進行がみられ、憂慮していく」と警戒感を示した。

基軸通貨であるユーロの需要が高まつてござることもある。野村証券の春井真也氏は「世界的な金利上昇や新型コロナの感染拡大で、景気後退の懸念が高まつておなり、投資家のリスク回避姿勢の強まりによる「即買い」も増えてござる」と指摘する。

3月初め以降、25日近く、円安が進んでくる。円安は輸出企業の業績を押し上げ

の記者会見で「急務市場で急速な田安の進行がみられ、憂慮しております」と警戒感を示した。